MITSUBISHI
三菱リーチインショーケース
取扱説明書

お取扱いの販売店の方へのお願い
ショーケースをお客様に引渡しされる前に必ず取扱説明書により、「安全上の注意」、使用方法等を、お客様（お使いになる方）にご説明ください。

GFH（日配乳製品用）

GFH-214DRF / DRF-H
GFH-214DTF / DTF-H
GFH-424DRF / DRF-H
GFH-424DTF / DTF-H
GFH-634DTF / DTF-H

GFM（精肉鮮魚用）

GFM-214DTF
GFM-424DTF
GFM-634DTF

DR（単相１００V用）　DT（三相２００V用）

このたびは、三菱リーチインショーケースをお買上げいただき、まことにありがとうございます。
ご使用の前に必ずこの「取扱説明書」をよくお読みください。
お読みになったあとは大切に保存してください。万一ご使用中にわからないことや不都合が生じたときお役に立ちます。

保証書は必ずお受け取りください。

目　次

ページ

安全上のご注意

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。
表示と意味は次のようになっています。

⚠警告	誤った取り扱いをした時に、死亡や重傷等の重大な結果に結び付く可能性が大きいもの
⚠注意	誤った取り扱いをした時に、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があるもの

- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- お使いになっている製品を譲渡されたり貸与される時には、新しくお使いになる方が安全な正しい使い方を知るために、この取扱説明書を製品本体の目立つところに添付してください。

据え付け上の注意事項

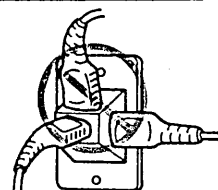
⚠警告

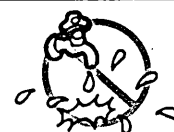
- **据え付けは、お買い上げの販売店または、専門業者に依頼**
ご自分で据え付け工事をされ、不備があると水漏れや感電・火災などの原因になります。

- **据え付けは、製品重量に十分耐える所に確実に**
強度不足や取り付けが不完全な場合は、製品の転倒・落下により、ケガの原因になります。

- **アース工事をする。アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しない**
アースが不完全な場合は、感電の原因になります。（電気工事士による第３種接地工事が必要です。）

アース工事をする

- **電源は専用コンセントを使用し、電源コードは、途中で接続したり延長コードの使用、タコ足配線をしない**
感電や発熱・火災の原因になります。
コンセントは単相100V用は定格125V.15A、三相200V用は定格250V.20Aです。

- **屋外で使用しない**
雨水のかかる場所でご使用されますと、漏電・感電の原因になります。

- **湿気の多い所や、水のかかり易い場所に据え付けない**
絶縁低下から漏電・感電の原因になります。

⚠注意

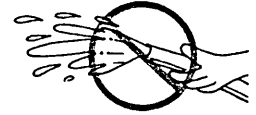
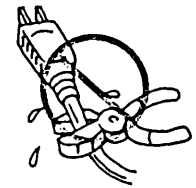
- **床面は丈夫で平らな所に水平になるように据え付け、転倒防止の処置をする**
据え付けに不備があると水漏れ、転倒・落下によるケガなどの原因になることがあります。

- **漏電遮断器がついていない製品を水気や湿気のある場所に据え付ける場合には漏電遮断器を取り付ける**
販売店または資格のある専門業者にご相談ください。漏電遮断器がついていない場合は感電の原因になることがあります。

安全上のご注意

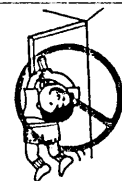
使用上の注意事項

⚠警告

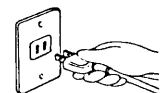
●製品に直接水をかけない
ショート、感電の原因になります。

●電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、引張ったり、たばねたりしない。また重いものを載せたり、挟み込んだりしない
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

●電源プラグは、ほこりが付着していないか定期的に確認し、がたのないように刃の根元まで確実に差し込む
ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は感電や火災の原因になります。

●揮発性、引火性のあるものは庫内に入れない
爆発や火災の原因になります。

●扉にぶらさがらない
扉の脱落や製品転倒によるケガの原因になります。

⚠注意

●食品の展示販売用としてのみ使用する
目的外の用途でご使用されますと保存品の品質低下などの原因になることがあります。

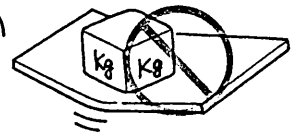
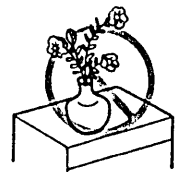
●濡れた手で電源プラグ等の電気部品には、触れない。またスイッチ操作をしない
感電の原因になることがあります。

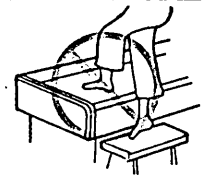
●電源プラグを抜くときは、先端のプラグを持って
コードを引っ張って抜くと芯線の一部が断線して発熱・発火の原因になることがあります。

……安全上のご注意（つづき）

使用上の注意事項（つづき）

⚠注意

● 棚の取付は正しく確実にセット
落下するとケガの原因になることがあります。

● 棚には１枚当り60kg以上の物を乗せたり、投げ入れたりしない
棚の落下によりケガの原因になることがあります。

● 製品の上には重量物や水を入れた容器を置かない
落下しケガをしたり、こぼれた水で電気部品の絶縁が悪くなり、漏電の原因になることがあります。

● 可燃性のスプレーを近くで使用したり、可燃物を置かない
スイッチの火花などで引火し、発火の原因になることがあります。

● 製品の上に乗らない
転倒、破損、落下などによりケガの原因になることがあります。

● 長期間ご使用にならない場合は、安全のため電源プラグをコンセントから抜く
ほこりが溜って発熱、発火の原因になることがあります。

プラグをコンセントから抜く

● 掃除をするときや整備・点検のときは、必ず電源プラグを抜いて電源回路を切る
感電やファンによるケガの原因になることがあります。

プラグをコンセントから抜く

● 掃除のためフィルターを取り外す時は、凝縮器フィンに手を触れない
ケガの原因になることがあります。

● 螢光灯交換時は、電源プラグを抜いて、照明回路を切る
感電の原因になることがあります。

プラグをコンセントから抜く

……安全上のご注意（つづき）

移設・修理・保管時の注意事項

⚠ 警告

- **移設は、販売店または、専門業者に相談する**
  据え付け不備があると水漏れ、感電・火災等の原因になります。

- **専門業者以外の人は絶対に分解したり、修理・改造はしない**
  分解、修理、改造に不備があると異常動作によりケガをしたり、感電・火災等の原因になります。

- **異常時は運転を停止して電源プラグを抜くか、元電源を切る**
  異常のまま運転を続けると感電、火災等の原因になります。

- **製品を一時的に使用を中止して保管する場合は、幼児が遊ぶ場所を避け扉を密閉できないようにする**
  幼児が閉じ込められる原因になります。

- **製品の廃棄は専門の業者に依頼**
  放置しますと幼児が閉じ込められるなど事故の原因になります。

- **製品を移動する時は、電源プラグをコンセントから抜き、電源コードを傷つけない様に移動する**
  コードの損傷により、感電・発火の原因になることがあります。

プラグをコンセント
から抜く

- **製品を移動する時は、ガラス部分には、力を加えない**
  破損し、ケガの原因になることがあります。

- **製品を移動する時は、転倒に十分気をつけて**
  転倒によるケガの原因になることがあります。

- **製品を移動する時は、商品及び棚等は取り外す**
  落下によるケガの原因になることがあります。

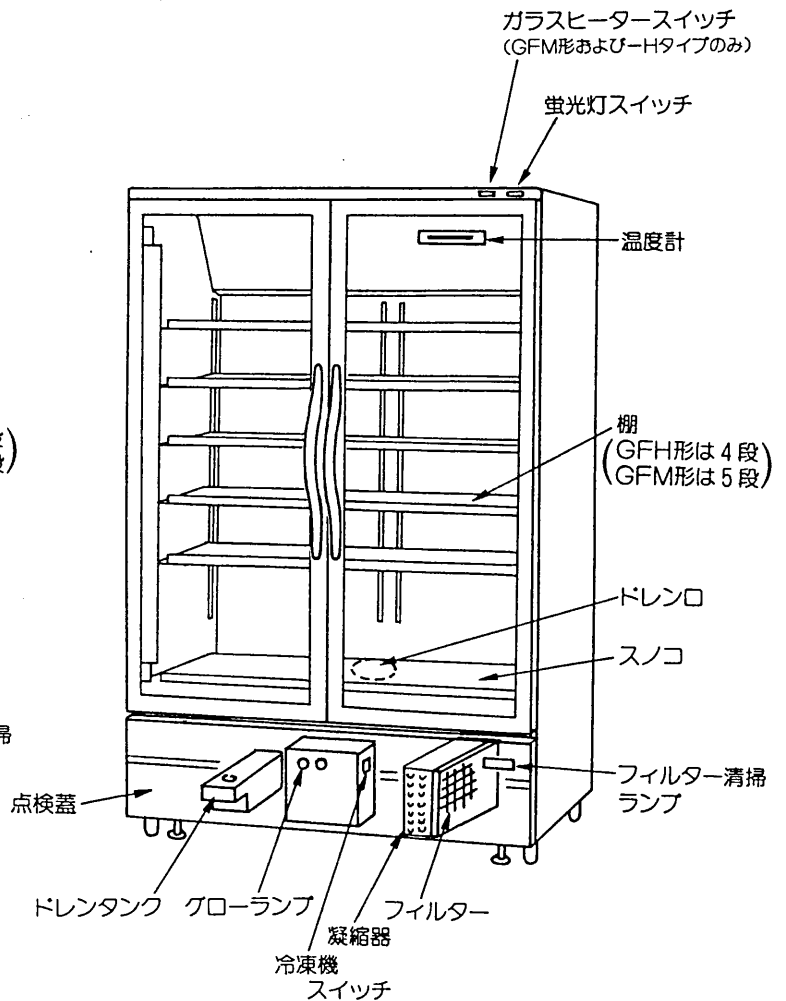
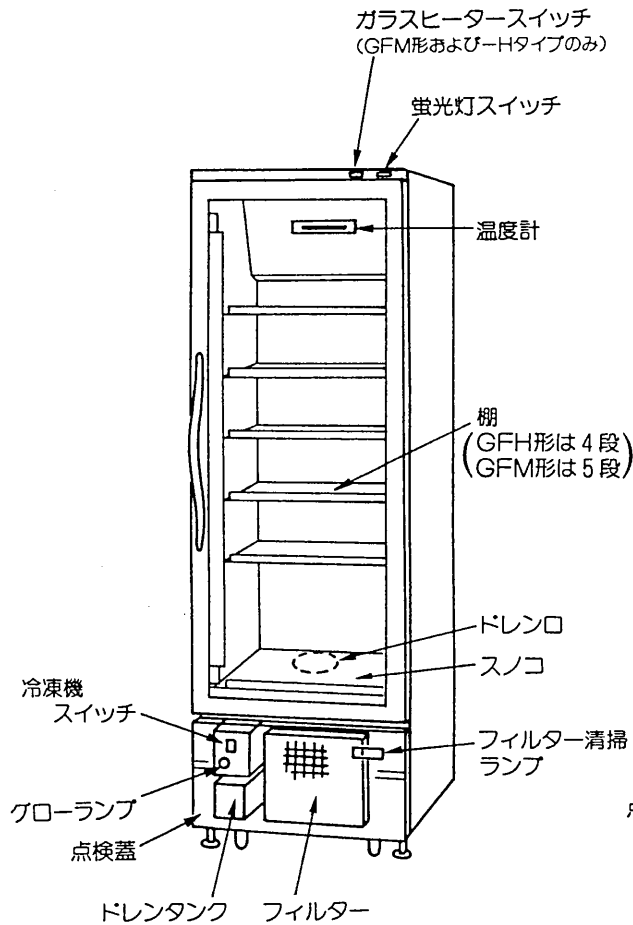
- **製品を移動する時は、排水を完全に行なった後にドレンタンクを外す**
  水漏れや水の飛散から漏電・感電の原因になることがあります。

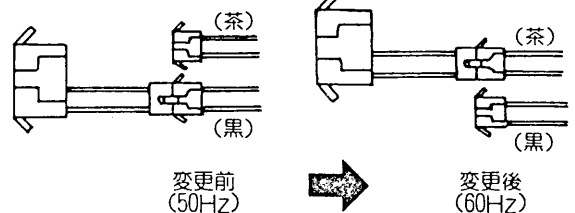
各部のなまえ

214形

ガラスヒータースイッチ
（GFM形およびーHタイプのみ）
蛍光灯スイッチ
温度計
棚
（GFH形は４段
GFM形は５段）
ドレン口
スノコ
冷凍機
スイッチ
フィルター清掃
ランプ
グローランプ
点検蓋
ドレンタンク
フィルター

424形（634形は、ほぼ同様の配置です。）

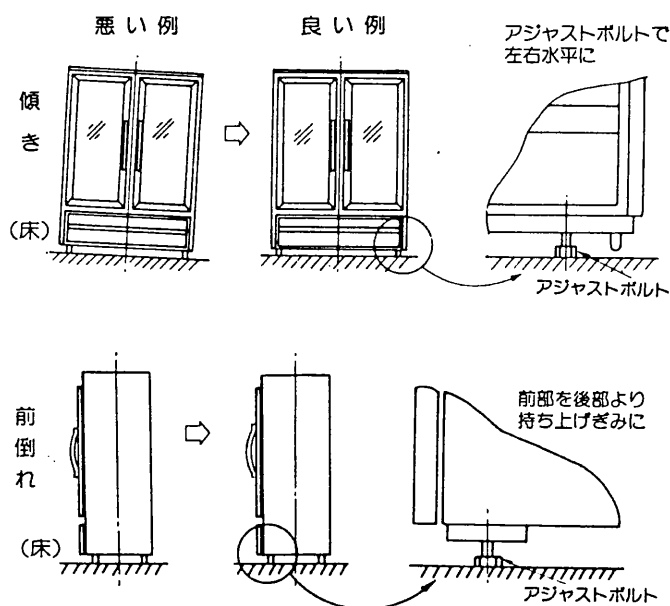
ガラスヒータースイッチ
（GFM形およびーHタイプのみ）
蛍光灯スイッチ
温度計
棚
（GFH形は４段
GFM形は５段）
ドレン口
スノコ
フィルター清掃
ランプ
点検蓋
ドレンタンク
グローランプ
フィルター
凝縮器
冷凍機
スイッチ

照明灯のサイクル切替について

- 照明灯のサイクルは、工場出荷時50Hz結線になっております。
- 60Hz地区で使用される場合は、点検蓋内部にある「照明灯結線変更端子」を、右図のように差し替えてください。

据え付け

調整

● 製品を設置する時は、傾斜面や不安定な床面への設置は避けてください。
製品が振動したり、扉が開いたままになり、冷却不良の原因となります。

● 製品の傾き、前倒れがある場合には、右図を参照し正しい設置をしてください。
正しい設置の確認
片方の扉を閉じた時、もう片方の扉が少し開いても、それが自然に閉まります。

● 特にGFH-634、GFM-634形は、中央のアジャストボルトを必ず接地してください。

アース及び漏電しゃ断は必ず取り付けてください。

● アース端子は本体背面下部にあります。

● 3相200V機種は電源コードの緑色の線がアース線になっておりますので、配線施工してください。
またアース工事だけでは完全に感電事故を防止することができませんので、漏電しゃ断器を必ず設置してください。

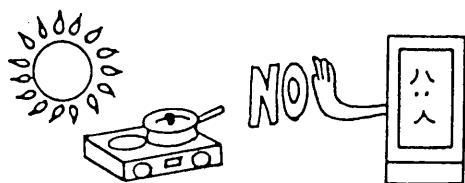
⚠警告

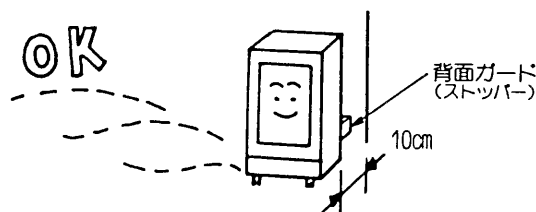
アースが不完全な場合は感電の原因になります。
(電気工事士による第3種接地工事が必要です。)

アース工事をする

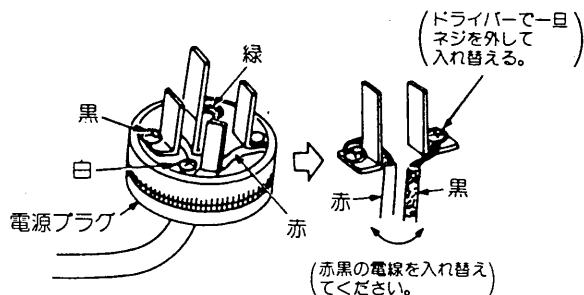
接地(アース)工事と漏電しゃ断器の設置は、お買い上げの販売店または、電気工事店にご依頼ください。

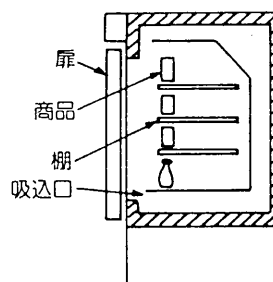
熱気から離れたところ

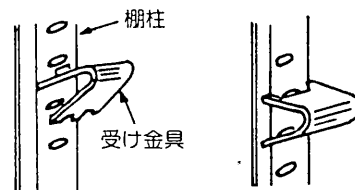
近くに熱源のあるところ、直射日光の当るところを避けてください。

周囲のすき間について

風通しがよくチリ・ホコリの少ないところで、周囲は10cm以上あけてください。
背面ガードは取りはずさないでください。

据え付け

ご使用の前に

- 電源プラグを専用コンセントに差し込むと冷え始めます。
- GFH-M・D"T"形（3相200V製品）の場合、ロータリー式圧縮機を使用しているため、保護装置（逆相防止器）が組み込まれております。逆相防止器が働いて、圧縮器が始動しない場合は、右図の要領で電源コードの接続を直してください。

商品の入れ方

- 庫内が十分冷えてからお入れください。（運転後1時間から1.5時間位が目安です。）
- 商品は棚からはみ出したり、吸込口をふさがないでください。（冷気の循環が悪くなるばかりか、扉開閉の際、扉の内側を破損する原因となります。）

棚

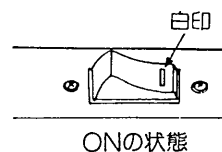
- 棚の高さは受け金具の操作により簡単に調節できます。しかも棚は取り外し自在です。
- 受け金具の上部のツメを棚柱の穴に差し込み、下部を押し上げ、下部のツメを穴に差し込んでください。（棚1枚につき4コの受け金具が必要です。）

スノコ

- スノコは内箱の底に敷き、商品はその上にのせていただきます。スノコはプラスチックの表面処理をしてありますので、耐久性があり、常に清潔に保つことができます。

洗う場合は熱湯を使用しないでください。

ガラスヒータースチッチ

GFM形およびGFH-DRF/DTF-H"（扉ガラスヒーター付）のみ

- ガラスヒーターはガラス防露用のヒーターです。季節や天候の具合によって、ガラスヒーターをOFFにしてご使用することができます。（節電のため）

温度調節

- 工場出荷時に適温になるように調整されております。
- 温度調節器には絶対に手を触れないでください。（操作しますと、不冷や凍結ばかりでなく、霜取り不良などの故障の原因となります。）

お手入れ

⚠注意 お手入れをするときは必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。またお手入れが終わりましたら電源プラグのホコリを取り除き、根元まで確実に差し込んでください。

ケース本体の清掃

- 乾いたやわらかい布でふいてください。ひどいよごれは中性洗剤を浸した布でふき、その後、水または温水をふくませた布で、よくふきとってください。
- 扉ガラス面は、油等が付きますと特にホコリがつきやすくなりますので、少なくとも1日1回はやわらかい布でふいてください。
- お手入れの際、ブラシ、粉石けん、酸、熱湯、ベンジン、シンナーなどは絶対にお使いならないでください。特にプラスチック、ゴム類には、熱湯やベンジンのような揮発性のものは禁物です。

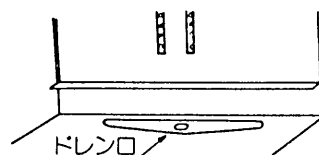
フィルターの清掃

- 冷凍機の性能を十分発揮させ、長持ちさせるために毎月1回位は、次の要領で凝縮器・フィルターの清掃を行ってください。

①点検蓋を外し冷凍機スイッチを「切」にしてください。
②フィルターを手前に引き出し、フィルターのゴミを取り除いてください。
凝縮器のゴミは、電気掃除機で清掃してください。
③冷凍機スィッチを「入」にし、点検蓋を閉じてください。

⚠注意
フィルターの取外しの際、凝縮器のフィンに直接手を触れないでください。
ケガの原因になることがあります。

ドレン口の清掃

- 月に1回程度庫内のスノコをはずし、ドレン口がつまっていないか確認し、清掃してください。

ドレン水の処理

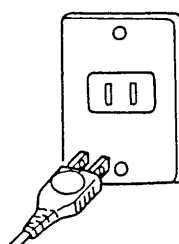
- 庫内の排水は、ドレンホースよりドレンタンクの中に流れこむようになっていますので、ご確認の上ご使用ください。
- 扉の開閉や設置条件により異なりますが、3日～1週間に1回は、たまった水をすててください。

霜取りについて

- 自動霜取りのため、手動での操作の必要はありません（1日、2回、約12時間毎、1回当り15～30分程度霜取りを行ないます。）

霜取りの際、一時的に庫内温度が上りますが、商品の温度にほとんど影響なく異常ではありません。

電源プラグを抜いたときは、次に差し込むまで5分以上間をおいてください。

- すぐに運転しますと、圧縮機に無理がかかり故障の原因となります。

調子が良くないとき

⚠注意　ご使用中ケースの調子が良くないときはつぎの事をお調べください。それでも良くならない場合は、電源プラグをコンセントから抜き、ご購入の販売店または、もよりの“三菱電機お客様ご相談窓口”（別添）へご連絡ください。

機械が運転しないとき

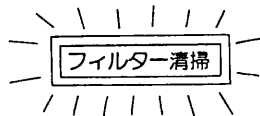
- 停電していませんか。
- ヒューズが切れていませんか。
- 電源プラグは確実に差し込まれていますか。
- 冷凍機スイッチが“切”になっていませんか。（5ページ）

機械の運転がときどき停止するのは温度調節器及び霜取りタイマーが作動しているためで故障ではありません。

音がうるさい

- 床がしっかりしていますか。（1ページ）
- ショーケースの設置面にガタつきはありませんか。
- ショーケースが壁などにあたっていませんか。
- ショーケースの機械室に異物が接触したり、はさまったりしていませんか。

フィルター清掃ランプが点灯したとき

- 圧縮機の温度が異常高温になっており、圧縮機保護のため、強制的に断続運転となります。このまま運転を続けますと、圧縮機が故障するおそれがあります。また、商品が傷む原因となりますので、ただちにつぎの処置をしてください。
    - 冷凍機スイッチ“切”にしてください。
    - フィルターを清掃してください。
    - 機械室の通気を良くしてください。

冷凍機スイッチを“切”にすると赤ランプは消灯します。

外側がぬれる

- ショーケースの外部、ガラス面等がぬれるときがありますが、これは周囲の湿気が高いとき、空気中の水分が結露するためで、故障ではありません。

冷えが悪いとき

- 機械室周囲の風通しが悪くなっていませんか。
- 直射日光があたったり、近くに熱源がありませんか。
- 扉の開閉がひんぱんではありませんか。また扉はよくしまっていますか。
- 吹出口、吸込口が商品でふさがれていませんか。

蛍光灯がつかないとき

- ランプ及びグローがソケットにしっかりはまっていますか。
- ランプが切れていませんか。（管端が黒くなっていませんか）
- 照明灯スイッチが“切”になっていませんか。
- グローランプが切れていませんか。

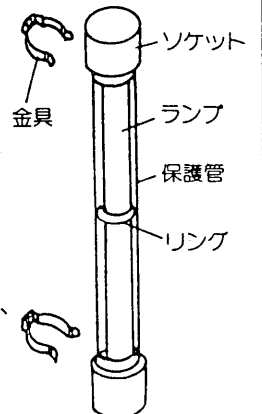
⚠注意　蛍光灯交換時は、電源プラグを抜いた後に行なってください。
感電の原因になることがあります。

プラグをコンセントから抜く

照明灯の取替え方

- 照明灯が暗くなったり切れたときは次の要領で交換してください。（照明灯は一般市販品の40W蛍光灯（昼光色）です。）

1. 照明灯部分を金具からはずしてください。
2. ソケットをはずし、ランプを保護管から抜いてください。
3. ランプのリングを新しいランプに付けてください。
4. ランプを保護管に差し込み、ソケットにセットしてください。
5. 金具にはめてください。
   保護管の乳白色部分をケース前面側にくるように取り付けますと、まぶしさを防止できます。

仕　様

項目 ＼ 形名		GFH										GFM		
		214				424				634		214	424	634
		DRF	DRF-H	DTF	DTF-H	DRF	DRF-H	DTF	DTF-H	DTF	DTF-H	DTF	DTF	DTF
使用温度	℃	2〜8										−2〜2		
キャビネット 外形寸法 幅	mm	610				1220				1830		610	1220	1830
キャビネット 外形寸法 奥行	mm	655												
キャビネット 外形寸法 高さ	mm	1850												
キャビネット 有効内容積	ℓ	267				568				905		267	586	905
キャビネット 外装	—	表面処理鋼板ポリエステル焼付塗装及び亜鉛メッキ鋼板												
キャビネット 内装	—	塩ビ鋼板												
キャビネット 扉(ガラス層数)	—	3層	ヒーター入り2層	3層	ヒーター入り2層	3層	ヒーター入り2層	3層	ヒーター入り2層	3層	ヒーター入り2層	ヒーター入り2層		
キャビネット 断熱材	—	ポリウレタン注入発泡												
キャビネット 脚部	—	自在車(φ50)、アジャストボルト												
キャビネット 重量	kg	126				204	194	204	194	278	263	121	187	269
キャビネット 付属品	—	網棚、スノコ、ドレンタンク												
冷凍装置 冷媒	—	R−22												
冷凍装置 圧縮機呼称出力	W	300				450				550		300	450	550
冷凍装置 冷却器	—	クロスフィン（強制通風式）												
冷凍装置 凝縮器	—	同上												
冷凍装置 冷媒制御	—	毛細管												
冷凍装置 除霜方式	—	タイマー・オフサイクル方式										タイマー・ヒーター		
電気 電源	—	※1		※2		※1		※2						
電気 照明	W	40×1				40×2				40×3		40×1	40×2	40×3
電気 電源コード	—	長さ3m、プラグ付												

●電　源　※1—単相100V 50/60Hz
　　　　　※2—単相100V 50/60Hz及び3相200V 50/60Hz

（注）本仕様書は改良のため変更することがあります。

アフターサービスと保証(無料修理)について

●故障が起きたときは、ご購入の販売店または、もよりの" 三菱電機お客様ご相談窓口"(別添)へご遠慮なくお申し付けください。
その際はお電話で次のことをはっきりと連絡されるよう、お願い致します。

①形名および製造番号(保証書またはケース貼付けの機種名板に記入してあります)
②不具合の内容　　　(できるだけ詳しく)
③おなまえ、おところ、電話番号
④お買い上げ年月日

●保証書は別に添付しております。必ずお受け取りください。
保証書記載のとおり、保証期間を設けて無償修理をいたします。但し保証期間中であっても有償となることがあります。
保証期間経過後の修理についても、ご購入の販売店または、もよりの"三菱電機お客様ご相談窓口"(別添)へご相談ください。
なお、サービスマンが訪問した際は、必ず保証書を提示してください。
保証書紛失の場合には、再発行いたしませんので取扱についてはご注意ください。

◎ お客様メモ

ご購入の際に記入しておいてください。修理など依頼されるとき便利です。

形　　名	
ご購入年月日	年　　月　　日
ご購入店名	電話 (　　　)

三菱電機株式会社

H103795-01